

## 重点事業⑨ 環境教育の促進

(学校教育課)

市内の小中学校では、環境教育の重点目標を①環境教育の推進、②環境問題を考える機会の充実と掲げ取り組んでいます。

### ① 環境教育の推進

環境問題を自らの問題としてとらえ、一人ひとりが自分でできることを考え、実践できるように、各教科や総合的な学習の時間等において、環境教育を推進していきます。

### ② 環境を考える機会の充実

環境保全の団体や多様な主体と連携し、環境美化・環境保全活動の充実を図るとともに、体験的・参加型の環境教育に取り組み、自ら考えた環境保全の取組が家庭や地域へ広がるように進めます。

特に、「学校環境デー」(6月5日)を中心に、学校や地域の実態に応じた特色のある環境教育・環境保全に関する取組を行っており、その例を学校単位で取り上げ紹介します。

### ◎早修小学校の取組

各学年の発達段階に応じて、身の回りの問題から地域、伊勢市全体へと視野を広げながら、環境美化・環境保全に関わる取組を教科や総合的な学習の時間を利用して実施しています。

#### ○1・2年生

- ・学級園には、給食の残菜でできた肥料を利用しました。
- ・学校環境デーに合わせて、生活科の「公園へ行こう」で、近隣の早修公園へ行き、ゴミ拾いなどの清掃活動
- ・教室を出るときは、電気を消す。
- ・水道の蛇口をきっちり閉める。
- ・牛乳パックを開いて乾かし、リサイクルに出す。
- ・リサイクルおもちゃ作り



#### ○3年生

- ・理科の時間、植物を育てたり、季節ごとに校庭や地域の中で生き物を調べたりして、身近な生活の中に生き物がいることや、生き物の暮らしは気候による影響を受けていることなどを知る学習に取り組みました。
- ・「水道の水を出しっぱなしにしない・教室にいないときは電気を消す」などを、子どもたち同士で声をかけあい、気をつけるようにしています。

#### ○4年生

- ・社会科の「住みよいくらし」についての学習から、清掃工場の見学を実施しました。そこで、ごみが始末される様子やリサイクルされるしくみを見学し、働く方の苦労や願いについてお話を聞かせてもらった。その後、自分たちでできること(いらぬものは買わない等)やお家の人にお願ひすること(生ごみは水を切る)など、実践に生かしています。



## ○5年生

- ・3Rについて学習をすすめ、身近にあるリサイクルについて話し合いました。天ぷら油を使って車を動かしている例をきっかけに、天ぷら油が石鹼に生まれ変わることまで話が広がったので、実際に廃油石鹼を自分たちで作りました。(安全面には十分配慮し、苛性ソーダを使用しないタイプの石鹼作りキットを使用して、廃油石鹼を作った。)工夫して再利用することで、環境にやさしい生活ができることを、身をもって感じることができました。
- ・総合的な学習時間で農業体験「田植え」を行いました。学校では、バケツで稲作を行っており、植物を育てることで、安全でおいしいものを作るには、環境作りの大切さを学習しました。また、理科の時間、植物を育てたり、メダカを飼育したりして、身近な生活の中に生き物がいることや、生き物の暮らしは気候による影響をうけていることなどを学ぶにつなげることができました。



## ○6年生

- ・6月5日の世界環境デーに合わせて、その設立の経緯や状況、日本の発信などを伝え、その上で、日常生活において自分たちのできることを考え、話し合う中で節水・節電・リサイクル(リユース)などの意見が出て、学校生活での今までの活動の振り返ることができました。

## ◎豊浜中学校の取組

生徒の主体的な活動として、生徒会を中心に全校で取り組んでいます。また、その取組の成果については、放送委員による給食時の校内放送や、文化広報委員による掲示を通して、達成状況などの情報が全校で共有され、新しい活動への意欲にもつなげています。

- ・「通学路のゴミ拾い活動」

「学校環境デー」を6/6に設定し、環境保全の意識の向上と環境改善を図るため、「通学路のゴミ拾い活動」を実施しました。前日の全校放送で「学校環境デー」の取組とその意義について伝え、当日は美化委員を中心に全校体制で収集と分別を行いました。



- ・「エコキャップ収集活動」

夏休みにエコキャップ収集活動を行い環境保全の意識の向上を図りました。集めたエコキャップは寄付をして、発展途上国のワクチン代に充てました。



- ・「土路浜海岸の清掃活動」

地域の環境美化について関心を持つこととボランティア精神を養うことを目的に、9月末に全校生徒で、豊浜東地区にある土路浜海岸の清掃活動を行いました。

